



取締役頭取

金城 棟啓

GREETING ごあいさつ

皆様には、平素より琉球銀行をご利用、お引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

多くの皆様に琉球銀行をより一層理解していただくために、「琉球銀行の現状」（2016年度中間ディスクロージャー誌）を作成しました。

平成28年度上半期の国内経済は、個人消費が消費者マインドに足踏みがみられ、企業の生産活動も横ばいの動きとなるなど、一部に弱さがみられたものの、全体としては緩やかな回復基調が続きました。

県内経済は、建設関連が人手不足などから建設現場の動きに一服感がみられたものの、観光関連が外国人客の増加などから好調を続け、失業率の低下や賃金の上昇といった雇用環境の改善により個人消費も好調に推移したことから、全体としては拡大の動きが強まりました。

このような環境のもと、中期経営計画「Shared Value 2015」の2年目となる今年度は、お客様の利便性向上のためITインフラの拡充に取り組んだほか、成長分野のサポート強化による取引の拡大やお客様のニーズに合わせた商品の充実に努めてまいりました。

当行は、中期経営計画「Shared Value 2015」の諸施策を加速させるとともに、グループ総合力を発揮し、長期ビジョンで掲げる3つの価値「Speed（スピード）」「Solution（問題解決力）」「Sympathy（共感力）」の提供を通じて、お客様から選ばれ、地域からの圧倒的な支持をいただけるりゅうぎんグループを目指してまいります。

平成29年1月